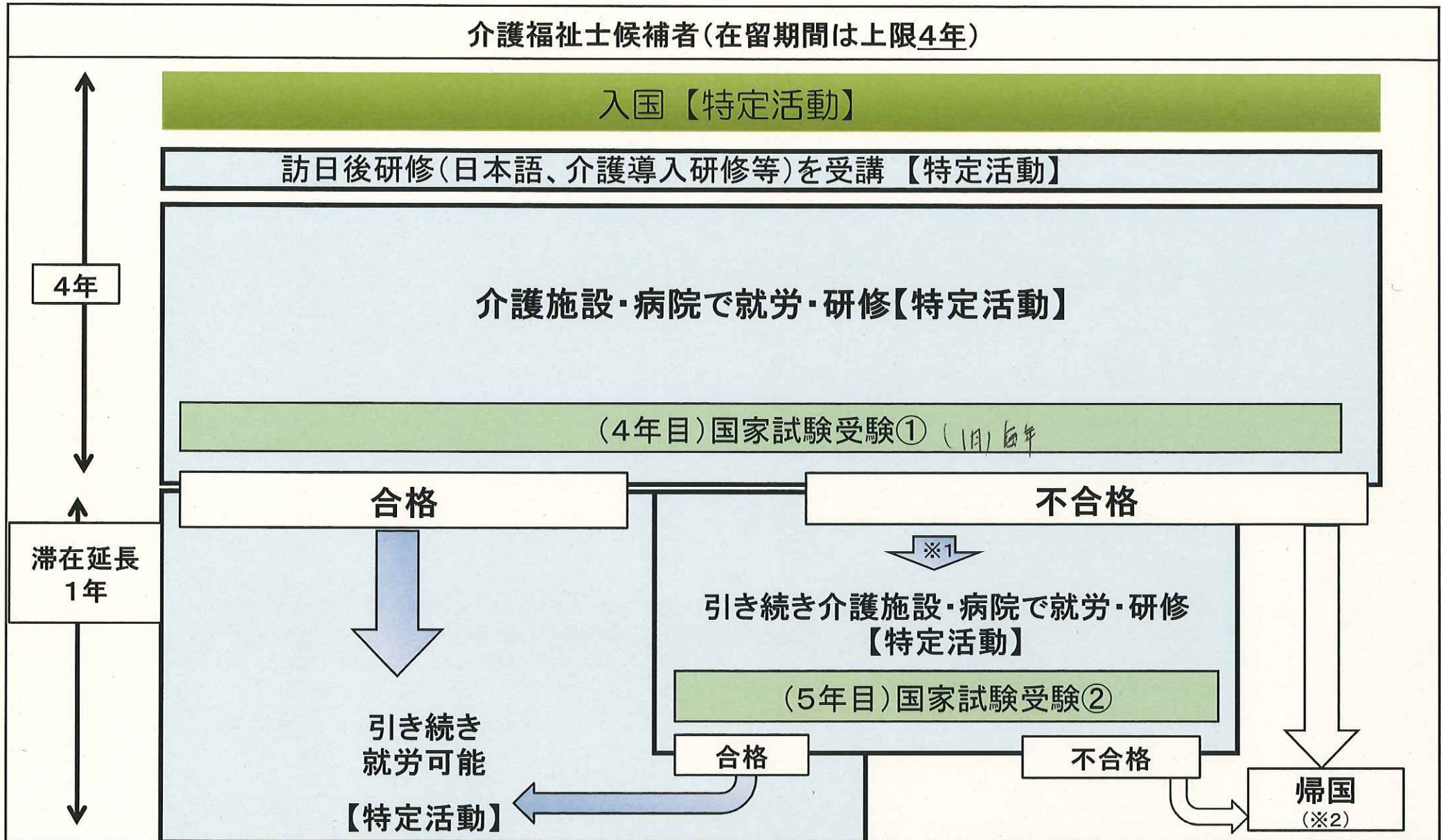


EPA(經濟連携協定)



# 経済連携協定に基づく受入れの枠組(介護:入国以降)



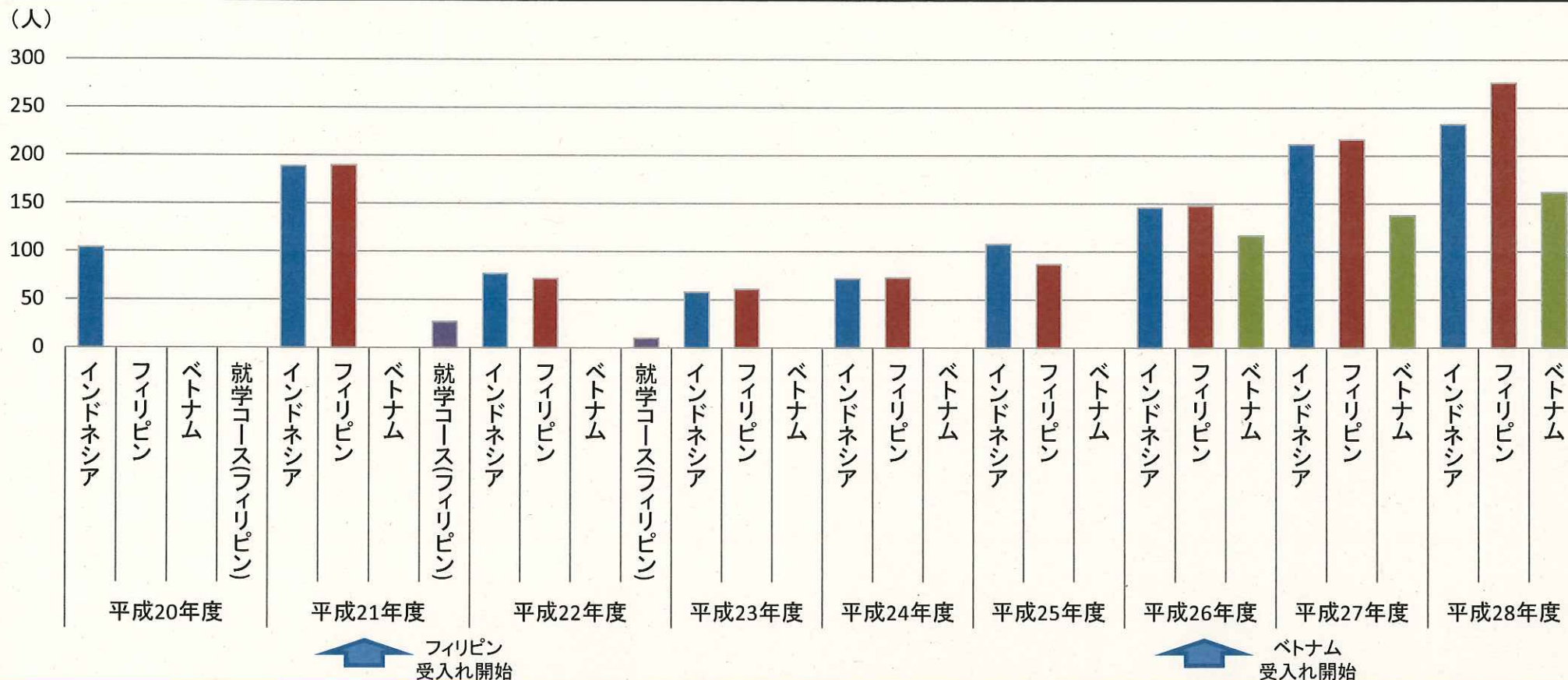
(※1)一定の条件を満たす者は、不合格であっても、協定上の枠組を超えて、1年間の滞在延長が可能。

(※2)帰国後も、在留資格「短期滞在」で再度入国し国家試験を受験することが可能。

注)【 】内は在留資格を示す。

# 介護福祉士候補者受入れ人数の推移

OEPAに基づく介護福祉士候補者の累計受入れ人数は2,700人超。



入国年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	累計
介護	インドネシア	104	189	77	58	72	108	146	212	233	1,199
	フィリピン(就労)	-	190	72	61	73	87	147	218	276	1,124
	ベトナム	-	-	-	-	-	-	117	138	162	417
	合計	104	379	149	119	145	195	410	568	671	2,740
	フィリピン(就学)	-	27	10	-	-	-	-	-	-	37

※ 国内労働市場への影響を考慮して設定された受入れ最大人数は各国300人/年(インドネシア、フィリピンについては、受入れ開始当初は2年間で600人)。

※ フィリピン就学コースは平成23年度以降送り出しが行われておらず、ベトナムは平成26年度の受入れ開始当初から送り出しが行われていない。

# 経済連携協定に基づく受入れに係る国家試験合格者・合格率の推移

受験年度	介護福祉士国家試験											
	インドネシア			フィリピン			ベトナム			合計		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
平成20年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成21年度	—	介護福祉士国家試験の受験資格(3年間以上の実務)を満たさないため、平成22年度までは受験なし					—	—	—	—	—	—
平成22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成23年度	94	35	37.2%	1	1	100%	—	—	—	95 (137,961)	36 (88,190)	37.9% (63.9%)
平成24年度	184	86	46.7%	138	42	30.4%	—	—	—	322 (136,375)	128 (87,797)	39.8% (64.4%)
平成25年度	107	46	43.0%	108	32	29.6%	—	—	—	215 (154,390)	78 (99,689)	36.3% (64.6%)
平成26年度	85	47	55.3%	89	31	34.8%	—	—	—	174 (153,808)	78 (93,760)	44.8% (61.0%)
平成27年度	82	48	58.5%	79	34	43.0%	—	—	—	161 (152,573)	82 (88,300)	50.9% (57.9%)

※ 合計欄の( )内の数字は、日本人を含めた全体の受験者数、合格者数、合格率を表す。